

第6回 台東区子ども歴史・文化検定 中学生問題

解答と解説

解説文の最後に、参考として『台東区子ども歴史・文化テキスト（改訂版）』のページ数を掲載しています。

平成27年度 台東区教育委員会

問1

正解 ウ

台東区の西側にある上野の台地近辺には、人々の暮らした跡あとを見ることができます。貝塚かいづかをはじめとする遺跡いせきでは、家の跡や人々が食べた貝、漁に使った道具などが見つかっています。(9 頁ページ)

問2

正解 エ

弥生時代やよいじだいに入ると農業が普及ふきゅうし、米を食べる文化が広まりました。穀物を貯蔵することが可能になったため、貧富ひんぷの差が生まれ、争いが多くなりました。台東区では、弥生時代の終わりころの遺跡いせきが見つかっています。(9 頁)

寛永寺かんえいじは、1625（寛永2）年、上野の山に天海僧正そうじょうと2代将軍秀忠、3代将軍家光とが協力して創建されました。(15、16 頁)

問3

正解 ア

榎前浜成ひのくまのはまなり・竹成兄弟たけなり あみの網にかかった観音像を土師中知はじのなかともがまつたことから、浅草寺せんそうじが始まったといわれています。アの天海かんえいじは寛永寺を創建した人です。(12、13 頁)

問4

正解 イ

富くじとは、富札を売り、当たった者にほうびを給するくじです。台東区内では、江戸時代きょうほう、享保になると、谷中やなかの感応寺（天王寺）こうにんが公認されました。(19 頁)

問5

正解 イ

慶長^{けいちょう}10年の江戸^{えど}の人口は15万人です。(14頁)

問6

正解 ア

1923年に起こったのは関東大震災^{だいしんさい}です。東京は、9月1日、午前11時58分、マグニチュード7.9といわれている激しい地震^{じしん}に襲^{おそ}われました。ちょうど昼食時で使用^し中のかまどやガスコンロの火が燃え移って火事^{ひがい}が起こり、被害^{ひがい}を大きくしました。(30頁)

問7

正解 イ

国民学校初等科の3年生から6年生の児童^{そかい}らは、学童疎開^{そかい}の対象になりました。下谷区^{したや}の学校は福島県、浅草区^{みやぎけん}の学校は宮城県に疎開^{そかい}しました。会津三里町^{あいづみさと}は当時の疎開先^{えん}の縁で友好都市になりました。(31～33頁)

問8

正解 エ

アメ横は終戦直後の混乱した時代に生まれた商店街^{ほか}です。他の3つの場所^{えどじだい}は江戸時代にすでに商店が立ち並びにぎわっていました。(33頁)

問 9

正解 ウ

江戸時代えどじだいの中期には、塩・砂糖・しょうゆ・かつお節といった調味料が使われるようになり、食文化が豊かになりました。明治時代になり、西洋文化の影えいぎょう響を受け食生活も劇的に変わり、牛肉をみそやしょうゆで煮にこ込む牛なべが流行しました。(37、42 頁)

問 10

正解 ウ

レンガが建築建材となるのは、明治時代以後のことです。しかし関東大震災での凌雲閣だいしんさい りょううんかくの倒壊とうかいに象しょうちょう徴されるように地震じしんに弱いことが明らかになったため、小規模な建築以外では使われなくなりました。アの代表例が下谷したや（上野）広小路ひろこうじです。イで代表されるのがいろは四十七（のちに四十八）組まちびけしの町火消はかいです。エは家を破壊することにより延焼えんしょうを防ぎました。当時も防火用水は常備されていましたが、消火できるほどではありませんでした。(50～51 頁)

問 11

正解 ウ

そのほかに狎ちん（犬）や水鳥、猫ねこなどが飼かわれていました。ウのコアラが日本に来たのは1984（昭和 59）年で、動物園で飼育するためにオーストラリアから贈おくられました。(56 頁)

問 12

正解 エ

明治時代になると、牛肉を食べたり、牛乳やコーヒーを飲んだりするようになりました。他のものは江戸時代に食べられ始めたものです。(42 頁)

問 1 3

正解 エ

防空服は、昭和の戦時中に着られたものです。1937（昭和 12）年、日本は中国と戦争を始め、軍国主義への道を進み始めました。「ぜいたくは敵だ」のスローガンのもと、着るのが制限され、1941（昭和 16）年に太平洋戦争に突入し、戦争が長引くにつれて物資不足が深刻になり、毛糸や木綿の代用品としてスフと呼ばれる化学繊維を混ぜた衣類がつくられました。また、翌年には衣料切符制度が実施され、一人ひとりの 1 年間の使用点数が決められ、点数の枠内でしか衣服を買えませんでした。（45 頁）

問 1 4

正解 ア

エノケン一座の舞台には、ジャズやダンスがあり、スピーディーでナンセンスなギャグがいっぱいで、昭和初期の浅草の人気を独占するかのような勢いでした。浅草を去って有楽町に活動拠点を移してからも、舞台に映画に活躍を続け、その人気は全国に及びました。（29 頁）

問 1 5

正解 ア

近代に入ると、工業技術や機械の導入などによって、手仕事の職人は減っていきました。（60 頁）

問 1 6

正解 ア

襖を開け閉めするとき手をかける部分を引手といいます。堀口さんは、全国でも数少ない引き手職人の一人です。（61、62 頁）

問 1 7

正解 イ

路面に線路を敷^しき、その上を馬車が走る鉄道馬車は、1882（明治 15）年に運行が始まり、乗合馬車より乗り心地^のがよ^ごく人気を集め、約 20 年間東京の街中を走り続けました。（64 頁）

問 1 8

正解 ウ

鎌倉街道は、鎌倉から放射状にいくつものルートがありました。その中で下道は台東区内を抜^ぬけて東北地方に向かっていたと考えられています。（67 頁）

問 1 9

正解 ウ

鳥越川のうち、現在の江戸通りにかかっていた須賀橋あたりから河口までの水路は、須賀堀^{ぼり}という名でしたが、釣^つりをした帰りに、「おいてけ」と声をかけられるという伝説にちなみ、「おいてけ堀」とも呼ばれていました。（72 頁）

問 2 0

正解 ア

伝説では、むかし、浅茅ヶ原^{あさじがはら}に一軒家^{いっけんや}があり、その家に泊めた旅人を殺しては、物を奪^とって暮らしている老婆^{らうば}がいました。しかしある夜、老婆の娘^{むすめ}が旅人の身代わりになって死んでしまいます。老婆はそれを悲しみ、また自分がやってきたことを後悔^{こうかい}して、池に入り、死んでしまいました。そのため土地の人々はこの池を姥ヶ池^{うばがいけ}と呼ぶようになった、といひます。（76、77 頁）

問 2 1

正解 イ

舟ふねを使うと荷物をたくさん運ぶことができました。江戸時代えどじだいには堀割ほりわり（用水路はいすいろや排水路）や土手ていぼう（堤防）などがつくられ、台東区内には川や水路が網あみの目めのように流れていました。

（69 頁）

問 2 2

正解 エ

鹿鳴館ろくめいかんは 1883（明治 16）年に日比谷公園ひびやこうえん近くの旧薩摩藩屋敷跡さつまはんやしきあとに建てられた社交場です。（見世物小屋、浅草富士りょううんかく、凌雲閣りょううんかくの説明は 84 頁参照）

問 2 3

正解 ア

こんこん靴くつ市は、玉姫稻荷神社たまひめいなりの氏子うじこである靴の関連業者が、商売繁盛はんじょうや地域の産業の発展を願って開く市です。境内けいだいで靴を安く販売はんばいするほか、さまざまな催もよおしも行われます。

（92 頁）

鷲おおとり神社じんじゃでは 11 月に「酉とりの市いち（酉の日）」、上野東照宮とうしょうぐうでは 1～2 月に「冬ぼたん」、4～5 月に「春ぼたん」、五條天神社ごじょうでは 1 月 24～25 日に「うそかえ神事とう」等が催もよおされます。

（89、93、96 頁）

問 2 4

正解 イ

1 月 24～25 日に五條天神社ごじょうてんじんじゃで行われるうそかえ神事は、1 年間の嘘うそを鳥の鷲うそ（ウソ）にたくして引き取ってもらい、また、不幸わざわや災うそいを嘘うそということにして、幸福とに取り替かえるという行事です。（89 頁）

問 2 5

正解 ア

10 月には菊まつりが区内各所で行われます。9～10 日には下谷・竜泉まつり、14～15 日には谷中菊まつりが開かれ、浅草寺境内の菊花展は10月15日～11月15日まで開かれます。(96 頁)

花まつりはお釈迦様の誕生日で、4月8日ごろ区内の寺院各所でお釈迦様の誕生仏を安置した花御堂を設け、甘茶の接待などが行われます。(91 頁)

問 2 6

正解 エ

隅田川花火大会は、毎年7月の最終土曜日に開催されています。(94 頁)

問 2 7

正解 ア

大根まつりは1974年に始まった、毎年1月7日に浅草・待乳山聖天で開かれる行事です。1974年は、昭和49年です。昭和の場合は、西暦から和暦を引くとすべて1925になります。そのため、1974－1925で49が求められます。なお、平成の場合は、西暦から和暦を引くと1988になります。

問 2 8

正解 ウ

子どもたちが「とんとんと」と唱えつつ竹を持ちながら地面を叩くことによって、病魔などをはらう意味があり、火にあたることによって、1年を元気に過ごせるといいます。(88 頁)

問 2 9

正解 ウ

新春浅草歌舞伎は毎年 1 月に浅草公会堂で開かれる、若手役者の登竜門といわれている公演で、有料です。(89 頁)

問 3 0

正解 イ

福聚の舞は、七福神の舞です。境内の上で、七福神が観音様の福德をたたえる舞を舞います。(89 頁)

問 3 1

正解 エ

江戸時代には、かつば橋道具街通りを新堀川が流れていました。大雨のたびに川は氾濫したことから、合羽屋喜八(通称 合羽川太郎)が私財を投げ出して新堀川を広げる工事を行いました。(101 頁)

問 3 2

正解 エ

江川太郎左衛門英竜は江戸時代に活躍した幕臣で、伊豆の葦山の代官でした。幕末の洋学の先駆者の一人で、お台場に大砲をつくるなどその能力をかわれ、ペリーが来航したときには海防の担当者として活躍しました。(107 頁)

問33

正解 イ

浅草の駒形堂は2003（平成15）年（103頁）、浅草神社の社殿は1649（慶安2）年（112頁）、下谷神社の社殿は1934（昭和9）年（110頁）、小野照崎神社の社殿は1866（慶応2）年（110頁）にそれぞれ建てられました。浅草神社の社殿は、権現づくりの代表的な建物で、重要文化財になっています。（112頁）

問34

正解 イ

待乳山聖天は、正式には待乳山本龍院といい、大根と巾着（砂金袋）がシンボルとなっています。大根は消化がよく栄養価が高いところから健康増進・一家和合のもと、巾着は金銀財宝で商売繁盛を表しています。（100頁）

問35

正解 エ

駒形堂境内の左側のすみには「浅草観音戒殺碑」があり、碑には「このあたりより、北の待乳山聖天までの浅草寺境内では殺生を禁じる」と書いてあります。（103頁）

問36

正解 イ

新堀川に大きな1匹の鯉が現れたとき、大川（隅田川）の主だという人もいましたが、元気な若者たちは川に飛び込み、つかまえて食べようとしました。そこへ1人の老人が来て、その大鯉をもらいうけ龍宝寺の大池に放しましたが、すぐに死んでしまいました。住職が鯉の墓をつくらうとすると、若者たちは無理やり持ち帰りみんなで食べてしまいました。すると、鯉を食べた人は苦しみ出し、次々に亡くなったため、人々は鯉のたたりだと住職に頼んで供養してもらい、鯉塚を建てました。（105頁）

問37

正解 イ

1934（昭和9）年の建てかえの時、^{はいでん}拝殿に日本画の^{きよしょう}巨匠横山大観により、^{てんじょう}天井絵「^{りゅう}龍」
が^{えが}描かれました。（110頁）

^{えどじだい}江戸時代に活躍した^{かつやく}歌川^{うたがわひろしげ}広重は^{うきよえ}浮世絵、明治時代に活躍した^{ひしだ}菱田^{ねこ}春草は「黒き猫」など、
同じく^{みゆき}下村^{いけのはた}観山は「大原御幸」などを描きました。横山大観は1909（明治42）年より池之端
に住んで数々の作品を描きました。現在、その自宅が「横山大観記念館」として^{いっばん}一般に公開
されており、墓は^{やなかれいえん}谷中霊園にあります。

問38

正解 ア

玉林寺が建てられたのは1591（天正9）年といわれ、^{とよとみひでよし}豊臣^{かつやく}秀吉が活躍した^{あづちももやまじだい}安土桃山時代で
すが、シイの木はそれよりも前からあったとお寺に伝えられています。シイの木の高さは
9.5m、幹の周囲は5.6mで、枝を大きく張った見事な木です（非公開）。（102頁）

問39

正解 エ

^{こんてんぎ}渾天儀は天体の位置の観測に用いられ、小型化したものは天体を説明する模型としても使
用されました。^{ちきゅうぎ}地球儀の天体版ともいえます。（114頁）

問40

正解 ア

伊東玄朴は西洋医学の医療を行った人物で、長崎でシーボルトに学び、その弟子は約400人を数えました。後に玄朴は種痘を行った実力を認められて将軍の侍医にもなりました。やがて種痘所は官立となり、西洋医学所へと名前を改めて日本の医学の中心機関となりました。そして明治時代には現在の東京大学医学部へと発展していきました。(122頁)

高松凌雲は、幕末から明治時代にかけて活躍した医師で、徳川家付きの医師となり、徳川慶喜が将軍となってからも仕えました。1877(明治10)年12月に貧しい人々を無料で診察する同愛社をつくった名医として知られ、現在は谷中霊園に眠っています。(120頁)

ボードウィンは、オランダ人軍医であり、病院建設の話が進んでいた上野の山に、彼の意見を取り入れて公園をつくることとなり、1876(明治9)年、政府主導による我が国最初の公園が上野に誕生しました。(25頁)

問41

正解 ア

瀧廉太郎は、明治時代を代表する作曲家です。春の隅田川の情景を歌った「花」も作曲しています。旧音楽学校奏楽堂に銅像(朝倉文夫作)があります。(131頁)

山田耕筰は、東京生まれの明治～昭和時代にかけて活躍した指揮者で、日本初の管弦楽団をつくるなどして西洋音楽を広めました。代表作に童謡「赤とんぼ」「まちぼうけ」などがあり、台東区内の「黒門小学校第一校歌」も耕筰の作品です。(132頁)

岡倉天心は、横浜生まれの美術史家で、日本美術の復興運動に加わり、東京美術学校の開設に尽くしました。谷中の旧居跡は、区立岡倉天心記念公園(都旧跡)として保存されています。(127頁)

朝倉文夫は、大分県生まれの近代日本の代表的な彫塑家で、1907(明治40)年に東京美術学校を卒業した後、谷中に住まいとアトリエ(現在の朝倉彫塑館)を建て、1964(昭和39)年に亡くなるまでの57年間を過ごし、多くの学生を指導しました。(131頁)

問 4 2

正解 エ

池波正太郎^{しょうたろう}は昭和時代を代表する時代小説の作家です。戦後は、台東区役所に勤務するとともに劇作家を目指しますが、しだいに小説家として活躍^{かつやく}するようになり、1960（昭和 35）年『錯乱^{さくらん}』で直木賞を受賞しました。（136～137 頁）

幸田露伴^{ろはん}は、明治～昭和時代にかけて活躍した小説家です。一時期住んでいた谷中^{やなか}の住居のそばには天王寺の五重塔^{ごじゅうのとう}があり、大工の棟梁^{とうりょう}をモデルに『五重塔』を書き上げました。（135 頁）

島崎藤村^{しまざきとうそん}は、木曾馬籠^{きそまごめ}（岐阜県^{ぎふけん}）生まれの詩人で小説家です。1893（明治 26）年から 1 年余り下谷区三ノ輪町（三ノ輪 1 丁目）の長兄宅^{ちやうけい}に、1906（明治 39）年から約 6 年半を浅草区新片町 1 番地（柳橋^{やなぎばし} 1－7）に住みました。（136 頁）

樋口一葉^{ひぐち}は、明治時代の女流作家で、生活のために小説を書いていましたがまだまだ生活は苦しく、ほかに荒物雑貨^{あらもの}と駄菓子^{だがし}を扱う商売を始めました。このときに移り住んだのが下谷龍泉寺町^{りゅうせんじでら}でした。代表作『たけくらべ』は、この地で構想を得て執筆^{しつぴつ}されたものです。（161 頁）

問 4 3

正解 イ

ヤマネは日本にしかいない動物で、北海道を除きほぼ全国の森林に住んでいます。他にオオワシ、オジロワシ、タンチョウ、カラスバト、ルリカケス、オオサンショウウオ^{とう}等の天然記念物が飼育されています。（142 頁）

問 4 4

正解 イ

現在の東京メトロ銀座線は、1927（昭和 2）年、上野～浅草間 2.2 km で営業運転を始めました。アはつくばエクスプレス、ウは都営浅草線、エは東京メトロ日比谷線^{ひびやせん}の最初に開業した区間です。（151 頁）

問45

正解 エ

こうした売店が上野駅・東京駅に設置されたのは1932(昭和32)年のことです。鉄道弘済会こうさいかいとは鉄道で働く人々のためにつくられた団体で、この売店での利益は事故にあった人やその家族の救済のためにあてられました。(152頁)

問46

正解 エ

凌雲閣りょううんかくは通称「十二階」つうしやうとといいます。1890(明治23)年に開業し、10階までが八角形のレンガづくりで、その上は木造でした。日本で最初のつるべ式のエレベーターが設置され、8階まではエレベーターで上れました。ただ、このエレベーターは危険ということで、2年で廃止はいしされました。(153、154頁)

問47

正解 ア

上野公園開会式の式典後の公式えんかいじやうの宴会場おおくに困っていた大久保利通ぼとしみちは岩倉具視いわくらともみと相談して、岩倉の知り合いであった精養軒せいやうけんに上野への出店いらいを依頼しました。(140頁)

問48

正解 ウ

旧吉田屋酒店よしだや(上野桜木2-10-6)は、大きく突き出した梁つだが屋根はりを支える「出桁造だしげた」で、入口には横長の坂戸を上げ下げして開閉する「揚戸あげと」があります。また店内の中央には「帳場たな」があり、その左側には商品をならべる棚たながしつらえてあります。(160頁)

問 4 9

正解 ウ

旧東京音楽学校奏楽堂（上野公園 8－43）は、1890（明治 23）年に東京音楽学校（東京藝術大学音楽学部）の本館として建てられ、2階の奏楽堂は我が国で最も古い木造洋式音楽ホールです。当時、学生だった作曲家の瀧廉太郎や山田耕筰たちがピアノを演奏したり、歌曲を歌ったりし、ここから多くの音楽家が育っていったため、奏楽堂は日本の音楽教育の記念碑ともいわれています。ステージ上には、現在では非常に珍しい空気式アクション機構（鍵盤の操作を空気圧でパイプに伝える方式）のパイプオルガンがあります。（164 頁）

問 5 0

正解 エ

中村不折により 1936（昭和 11）年に根岸の地に開館されました。博物館には、書だけでなく、不折が書道研究のために収集した書道に関する資料、考古出土品など、重要文化財 12 点、重要美術品 5 点を含む約 1 万 6 千点が所蔵されています。博物館は 1995（平成 7）年に台東区に寄贈され、現在は台東区が新築した建物を加え公開しています。（162 頁）